

シラバス参照

開講年度	2011
科目名	特殊講義
職名／担当教員	経済学部 教授 望月 宏
期間／曜日／時限	後期 水曜日 5時限
開講区分／校舎	一部生田／生田
配 当	E 3 4
単 位	2

講義内容	<p><講義概要></p> <p>テーマ:川崎市役所特別講座（寄付講座） 新時代の都市振興</p> <p>都市は、経済・社会活動の受け皿であると同時にその活動そのものの集積でもある。従って、都市の活力を高めていくためには、様々な側面からの変化の対応、経済主体への対応が必要となってくる。川崎市は特に首都圏の中において、その都市の変容、都市振興を先端的に切り開いている都市である。すなわち全国の政令指定都市の中でも製造業の高度化を進めながらも、一早く知識産業型産業への転換を図るとともに、世界のモデルとなりうる環境対策を進め、今後とも人口の伸びも期待できる稀有なポテンシャルを持つ都市である。本講では、経済・社会等々様々な側面の様々なニーズに都市政策サイドがどのように対応し、将来を見据えた活動をしているかを、川崎市役所職員を中心としたオムニバス方式で講義していく。</p> <p>この授業は地方の役割が大きくなる時代において、その実態を知る上で貴重な機会を提供するとともに、特に地方自治体職員を希望する人たちにとってまたとない授業であり、強く受講を薦める。</p> <p>講義計画（昨年度分、本年度は夏休み明けに決定するがほぼ同内容の予定）</p> <p>第1回 ガイダンス 第2回 21世紀をリードする川崎市の将来像 第3回 川崎市シティセールス戦略の取り組み 第4回 映像のまち事業について 第5回 川崎市の福祉政策 第6回 福祉産業の振興 第7回 川崎北部の資源を生かした取り組み 第8回 外国人市民との共生社会の推進 第9回 川崎北部の資源を活かしたまちづくり---藤子・F・不二雄ミュージアム 第10回 アジアに向けた川崎市の取組とその意義(羽田国際化と臨海部) 第11回 多摩区における市民協働事業 第12回 川崎市の都市計画とその整備方向 第13回 環境政策の課題と対策 第14回 川崎市の産業構造の変遷と行方 第15回 まとめ</p> <p><教科書> 使用しない。各回の講師が必要に応じて資料配布（パワーポイント）する。</p> <p><参考書> 「川崎市総合計画」、「川崎の産業」、「市勢要覧」などの他、各回の講師が必要に応じて紹介する。</p>
成績評価方法・基準	以下の3点により評価を行う 一 出席状況 二 毎回の授業のまとめと考察をネット上の掲示板に提出 三 期末における提出レポート
履修上の留意点	<受講前提条件・関連科目> ・受講にあたっては、川崎市ホームページ http://www.city.kawasaki.jp/ はもちろん、川崎市発行の諸資料、専修大学社会知性開発

	研究センター発行の川崎市白書等を参考にし、また日本経済新聞、神奈川新聞などの川崎関連の諸記事などに注意を払うように。 ・関連科目は、「都市経済論」、「地域経済論」、「地方財政論」、「中堅企業論」、「企業経済論」、「情報経済論」など。
担当教員へのアクセス	
その他	・ 各回講師は川崎市の第一線の方々ばかりでもあり、しかるべくマナー（遅刻禁止、出入り禁止、私語禁止）を励行すること。評価に影響する。
更新日付	2011/03/04 18:29